

ばらんす

第46号

編集発行

大田原市総合政策部
政策推進課 市民協働係
〒324-8641
大田原市本町1丁目4番1号
☎ 0287-23-8715
FAX 0287-23-8748

大田原市くらしの会

今年40周年を迎えられた「大田原市くらしの会」。初代真壁イツ会長より引き継がれ、現在5代目となる菊池恵子会長は60数名の会員とともに、市民の消費生活の安定向上を目的として活動しています。

主な活動として、環境に配慮した暮らしを目指し、廃食油を利用した「粉せつけん」、生ごみを有機肥料にするための「生ごみ促進剤ぼかし」を作っています。農園では、会員が有機肥料を使った野菜づくりをしており、収穫祭ではご協力いただいた方を招待し、おいしい料理を振る舞っています。

その他、消費者まつりの開催、朝市や産業文化祭への出店を通して、安全な暮らしのための情報発信。トコトコ大田原に隣接する荒町蔵屋敷内のくらし情報館でのリサイクル活動。また、街かど美術館や大田原市女性団体連絡協議会に参加・協力し、ネットワーク

輝

シリーズ



くらしの会宣言

私たちは循環型社会をめざして身近なことから始まります。

1. 買い物は、マイバッグを持っていきます。

2. 生ごみは、たい肥化します。

3. 家庭の食用油は使い切り、廃食油は石けんにします。



菊池恵子会長

環境に配慮した暮らしを推進する私たちの活動は重要な役割だと思っています。今後は活動の内容を広げ、会員数を増やし、誰にでも親しまれる会にしたいと思っています。

の輪を広げています。子どもからお年寄りまで市民とのふれあいを大切にしながら活動を続けている大田原市くらしの会は、地域の皆さんから親しまれ、必要とされる会となっています。これからも地球温暖化防止の観点から次世代に向けて発信して頂きたいと思っています。(記 荒牧)



那須野が原国際芸術シンポジウムにて



くらし情報館



栗原 敏子さん

大田原市のために
活躍した女性

平成30年9月17日、ばらんす編集委員として活動していただいた栗原敏子さんが逝去されました。

栗原さんは、男女共同参画社会の実現を目指して、かつての機関誌「青鞥」で封建道徳に挑戦し、婦人の解放を主張する母性保護論争を展開した平塚らいてうや「みだれ髪」を刊行した与謝野晶子を思わせるような方でした。

小学校教員として27年間教壇に立たれ、ご主人が校長になられる時に退職されてからは、さまざまなボランティア活動にご尽力されました。

大田原に初のガールスカウトを設立し、県支部長、トレーナー、そしてリーダーとして活動してこられました。スカウト育成のために地域の様々な団体に関わり、それぞれの団体においても、なくてはならない存在でした。

読み聞かせグループ「ピノキオ」「まほうのとびら」では図書館でおはなし会を開催し、また、「大田原ふるさと民話の会」や、個人でも若草園、親園ほほえみセンターに定期的に通り、大田原市の歴史を多くの方に伝えてきました。

20年前の那須水害の折には、寝袋だけ持ってボランティアに参加され、その時の「行っちゃった、止めてもだめだから」というご主人の言葉は印象的でした。

「息子が就職して、家に入れてくれたお金をただおかげ代にはできないから」とボランティア活動振興に活用される大田原市善意銀行へおよそ40年にわたり毎月多額の寄付をされ、図書

館にも多くの本を寄贈されました。不慮の事故で亡くなられたお孫さんに読んであげたかったと栗原さんは言葉少なに話されていました。

善意銀行への寄付に対する表彰や栃木県で活躍する女性たちを紹介する書籍「輝く女性」への取材は固辞されました。唯一、国際ソロプチミスト日本財団の「社会ボランティア賞」を受けられました。その賞金はネパールの小学校支援に充てられました。

晩年は、それぞれの団体の礎をきちんと固められ、記念誌を発行し、人を育て、最後までボランティア一筋の方でした。

享年90歳、大田原市の女性と女兒のために、そして地域のために生涯を生き抜いてこられた方でした。
(記 藤沼)

栗原さんの所属団体等

- ガールスカウト
- 栃木県男女共同参画地域推進員大田原連絡会
- 大田原市家庭教育オピニオンリーダー連絡会
- 大田原市ボランティア連絡協議会
- 大田原市女性団体連絡協議会
- 大田原市更生保護女性会
- 大田原市国際交流会
- 大田原市子どもセンター協議会
- おおたわら市男女共同参画広報紙編集委員
- 読み聞かせグループ「ピノキオ」
- 読み聞かせグループ「まほうのとびら」
- 大田原市ふるさと民話の会

日本女性会議 2018 in 金沢

たたえようこれまでの道 彩ろう未知なる明日



日程：平成30年 10月12日(金) ~ 14日(日) 参加者：約 2,000人 (大田原市から12名)

1日目は内閣府男女共同参画局長池永氏による基調報告、防災・国際理解・貧困と子どもの権利・DVとハラスメントなど9つのテーマに分かれて講演やパネルディスカッションを行う分科会、夜の交流会では地酒と旬の魚、加賀野菜など地元の素材を活かしたお料理を満喫しました。

女人禁制の能楽

2日目の記念講演では、宝生流女性能楽師として活躍されている松田若子さんが、女人禁制の能楽の分野を改革し、伝統としきたりのなかで生きる厳しさ、子育て、病気を乗り越え、女性能楽師の育成のお話などを伺い、最後に、全員で「高砂」を吟唱しました。

女医はいらない

その後のシンポジウムでは「これからの生き方・働き方のカタチ」～「結婚」の選択肢が不人気なわけ～と題して、おたわ史絵氏は希望を持って医学の道へ進んだが、医局の面接の時、「女医はいらない」と言われ唖然とした事、医学界では教授の権限が大きく今話題の医学部女子差別問題などについてお話されました。インド出身の塩谷マスケダさんは「インドではお茶くみはパワハラ、女性の意識がおかしい！自信がないのであればスキルトレーニングをすべき、Have a dream, Never give up」と熱く語られました。閉会式では大会宣言が採択され、次年度開催地である栃木県佐野市に引き継がれました。(記 藤沼)

心に残った 言葉

Me Too 被害者を孤立させずに支援できれば、事態はいい方に向かう
ファーストペンギン 勇気を持って行動する人(最初にチャレンジする人には必ずリスクがある)
セクハラ 自分がしなくても、沈黙していれば加担していることと同じ

日本女性会議報告会

【日程】平成30年11月17日(土) 【参加者】47名(報告者8名) 【場所】生涯学習センター

日本女性会議参加者による報告会が、大田原市女性団体連絡協議会の主催で行なわれました。まず、8月の「一人ひとりが輝く大田原のつどい」開催時のアンケート集計結果について説明があり、この12年間の男女の行動や意識の推移がわかりやすく提示されました。日本女性会議の報告では、9分科会のうち8分科会に参加された方から発表があり、それぞれの課題解決を身近に感じることができました。今年10月には地元栃木県佐野市で女性会議が開かれます。女性だけでなく男性も楽しくわかりやすく学べると好評の日本女性会議。「人生100年時代」がテーマの佐野大会にみなさんの積極的な参加を促して報告会は閉会となりました。(記 江馬)

● 子育てお母さんを応援

親子ヨガ教室

講師：国際ヨガトレーナー
三輪浦恵子さん

日程：平成30年 10月10日(水) 11月7日(水) 参加者：〈10月〉親子7組 〈11月〉親子9組

毎日、家事や子育てで忙しいお母さんに子どもとコミュニケーションをとりながらリフレッシュしてもらうための親子ヨガ教室が開催されました。

集まったのは1歳8ヶ月から3歳までのお子さんとお母さん。ストレッチで体を慣らし、腰痛・膝痛・便秘解消にもなる犬や猫やラクダのヨガポーズをとります。日頃使わない関節や筋肉を緩めることで、子育てで疲れた体をほぐしていきます。

子ども達は、一人で上手にヨガのポーズを決める子、お母さんのお腹の上のる子、走り回ったり、じゃれ合ったり…泣き出した子には、年上のお兄さんが頭を“なでなで”するほほえましい場面も見られました。

ヨガ教室が終わり、みなさんスッキリした表情で会場を後にしていました。(記 江馬)



参加者の声

子どもと一緒に楽しめた

リフレッシュできた

市民力アップ講演会 & 平成30年度 男女共同参画推進事業者表彰



市民力アップ 講演会

〈日程〉平成31年1月19日(土)
 〈場所〉那須野が原ハーモニーホール
 〈講師〉菊池桃子氏(女優・戸坂女子短期大学客員教授)

テーマ 「多様性時代の学び方・働き方」～豊かに輝く人生のヒント～

講師の菊池桃子氏は40歳で大学に進学し、雇用政策・人材育成論を学び、雇用政策を踏まえた人々のキャリア形成を研究されました。講演会ではキャリア形成の大切さやダイバーシティ&ソーシャルインクルージョンなどについてわかりやすく講演いただきました。(記 岩元)

平成30年度 男女共同参画推進事業者表彰

本市では、男女が互いを尊重し、責任を分かち合い、その個性と能力を発揮できる働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる事業者を表彰しています。今年度は次の2事業者の受賞が決定いたしました。

富士電機機器制御株式会社 大田原事業所(電気機器製造業)

- 新規入職者の定着を図るため技能実践道場を新規開設
- 配偶者出産社員へ個別フォロー
- ダイバーシティ啓発教育を実施
- シスター制度を導入し、女性社員のキャリアアップを支援



大田原信用金庫(金融業)

- 女性活躍推進会議を設置
- 各休暇制度による「仕事と生活の調和」への支援
- 「全店統一一定時退庫日」を実施



父と子の料理教室

日程 平成30年12月9日(日) 講師 後藤 康子先生
 高橋 砂織先生
 場所 トコトコ大田原 親子ふれあいキッチン 参加者 親子8組

市内で料理教室を数多く開催している後藤先生とカフェオーナーの高橋先生を講師にお迎えし、お父さんが家事や育児に積極的に参画するきっかけとなるよう、お父さんとお子さんの料理教室を開催。キャンセル待ちが出るほど大人気の教室となりました。

昼食にみんなで食べるピザとクリスマス用のキャラクターパンを親子で協力しながら作りました。普段キッチンにあまり入らないお父さんも、生地をこねる作業やキャラクターを作る細かい作業では夢中になっていました。やがて、おいしそうなおピザやくまさんやアンパンマンなどのかわいいキャラクターパンができあがりました。

(記 荒牧)



「日本女性会議2019さの」 が開催されます!

日本女性会議は、男女共同参画に関する国内最大級のイベントです。今年36回目となる日本女性会議は本県佐野市で開催されます。ぜひ皆さんで参加しましょう。

テーマ / ようこそ! 「人生100年時代」
 さあ、共に語り、絆結ぼう。
 日程 / 2019年10月25日(金)~27日(日)
 会場 / 佐野市文化会館大ホールほか

編集後記

“ばらんす”は、平成8年創刊号を発行、平成31年3月第46号が平成最後の号となります。

この30年余り、東日本大震災など大変なこともありましたが、編集委員一同これからもよりよい男女のあり方を応援していきたいと思えます。新しい元号になっても、“ばらんす”をどうぞよろしく。
 (記 江馬)

ばらんす編集委員募集

「ばらんす」(年2回発行)の編集ボランティアを募集しています。年齢・性別は問いません。

お問合わせ先

政策推進課市民協働係
 ☎23-8715

編集委員

荒牧 孝道
 岩元 利孝
 江馬 久美
 藤沼 久子
 (五十音順)